

事務事業名 筑紫野市学校給食会助成事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1272

施策：	02	学校教育の充実	財務コード	01090401-05-515
基本事業：	05	健やかな体の育成	担当部	教育部
基本事業の成果指標	児童の体力定着度 生徒の体力定着度 健康に関する基本的な生活習慣が身についている児童の割合 健康に関する基本的な生活習慣が身についている生徒の割合		担当課	学校給食課
			担当係	共同調理場担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市学校給食会			<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食会は、学校給食に関する事業や給食費・物資などについて検討、承認を行う。構成は、理事会（教育長、小中学校長会代表3名、小中学校PTA役員代表2名、市小中教頭会代表1名、市教育委員会指導主事1名、給食主任1名、監事2名、学校給食課課長、栄養教諭）13名、評議員会（小中学校長、小中PTA役員代表）25名の委員で構成されている。</li> <li>主な事業として、食育に関する事業。当番校による給食指導実践報告、食育だよりの発行（月1回）、地場産物紹介DVD作成、野菜料理の達人（夏季休業期間中、小学生が家庭で野菜料理作りに挑戦し、達成レベルに応じてカードを発行）。調理員料理コンクールの開催。年1回、カミリーヤにて開催。表彰献立作品は、福岡県学校給食会主催のコンクールに出品及び実際に給食で提供。</li> <li>親子調理場見学会の開催。年1回、共同調理場にて小学5,6年生(20組程度)を対象に開催。</li> </ul>						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			<p>食育に関する事業。当番校による給食指導実践報告、食育だよりの発行（月1回）、地場産物紹介DVD作成、野菜料理の達人（夏季休業期間中、小学生が家庭で野菜料理作りに挑戦し、達成レベルに応じてカードを発行）。調理員料理コンクールの開催。年1回、カミリーヤにて開催。表彰献立作品は、福岡県学校給食会主催のコンクールに出品及び実際に給食で提供。</p> <p>親子調理場見学会の開催。年1回、共同調理場にて小学5,6年生(20組程度)を対象に開催。</p>						
市学校給食会の運営が円滑に行われています									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
親子調理場見学会参加者数		人	28	42	50	50			50
「野菜料理の達人」応募者数		人	1,288	1,420	1,500	1,500			1,500
5. コスト									
事業費		計	千円	107	107	107	107		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0.2				
正職員人件費		千円	1,563	1,605	1,676				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,670	1,712	1,783	107			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	令和4年度から実施している親子調理場見学会を夏休みに開催。小学5,6年生とその保護者を対象に20組程度の募集を行ったところ31組の応募があり28組が参加。普段入ることのできない調理場で給食ができるまでの説明を行った後、調理場で冷蔵室・冷凍室内の寒さ体験や1000人分を調理できる回転釜でかき混ぜや配缶の体験をしてもらい、給食への関心を高めてもらうことができた。								
どちらかといえばあがっている	また、調理員の料理コンクールについては、県及び市のコンクールに向けて献立の検討、試作、コンクールでの調理、審査を行い、調理員の技術向上、献立研究意欲の向上に繋がった。								
あがっていない（停滞・低下）	夏休み実施の小学生を対象とした『野菜料理の達人』では1258人の応募があり、食についての興味関心を高めること								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
<p>事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）</p> <p>備考・特記事項 or 進行管理欄</p> <p>令和6年度評価から成果指標を「「野菜料理の達人」応募者数」に変更。</p>									
<p>学校給食は、学校・家庭との連携が重要であることから、学校等との連携を密にし、学校給食の円滑な運営と食育の推進を図るための調査・研究の場として筑紫野市学校給食会を支援している。令和4年度評価から成果指標を「親子調理場見学会参加者数」、「親子調理場見学会後のアンケートの満足度」に変更。</p>			<p>令和6年度評価から成果指標を「「野菜料理の達人」応募者数」に変更。</p>						